

12月定例会



明日に向かって レディ・GO!

「MOTTAINAI」をさらに推進

資源物回収ステーション 役場北側へ

平成24年12月定例会は、12月6日に開会し、15日間の会期で行いました。

「町職員の給与に関する条例の一部改正」など10議案を可決・承認しました。

なお、請願4件は不採択でした。

主な条例改正

▼町職員の給与に関する条例の一部改正

県内市町村の給与水準との均衡を図るため、給料表を6級制から7級制に替えるものです。

▼町議会会議規則の一部改正

地方自治法の改正に伴い、学識経験者など、議会外の意見を広く聴取できるようにするものです。

主な補正予算

▼海部地域のFM放送局開局へ補助 587万7千円

緊急情報などを放送するコミュニティFM放送局の、送信所やスタジオなどを整備するものです。

▼資源物回収ステーション設置工事費 582万8千円

役場の北側に、資源物回収ステーションを設置するためのものです。

▼児童生徒の学習環境改善へ 157万1千円

小中学校全ての普通教室に、扇風機を4台設置するための準備費用です。

議会広報特別委員会研修報告

広報「誌」は必要か

「『おおはる議会だより』は、大治町民にとって、本当に必要なものなのか!」

とても刺激的に問いかけられた第77回全国町村議会広報研修会でした。

開かれた議会のひとつの手段として、昭和56年以来、長年にわたって発行してきた議会だより。「自己満足で終わっていないか」改めて考える良い機会となりました。

このところの約15年間のものでは、タブロイド版に変更した以外、紙面の構成はほとんど変わっていません。タブロイドの良さを十分に生かしきれていないのではないかと思います。

「本当に必要か」の問いかけに対して、「町民にとって、とても必要な議会だより」に発展するよう、チャレンジ・チャレンジです。



全国から400人以上の議会関係者が参加

本会議質疑＆委員会ダイジェスト

町職員の給与に関する
条例の一部改正

一般会計補正予算

理由と影響額

質問 施行が1月1日からの理由と、影響額は。

答弁 町職員の昇給月が、1月1日である。

また、影響額は、月6万5千円の増額となる。

どうなる 指数

質問 今回の改正により、ラスパイレス指数（※）はどれくらい上がるのか。

答弁 現状は89・7%で、1～2ポイント上昇する見込みとなる。

◆◆用語解説◆◆

※ラスパイレス指数とは

国家公務員を100として地方公務員の給料水準を示すものです。

指数が100を超すと、国家公務員より高い水準ということになります。



凶暴なアライグマ

修繕の内容は

質問 道路維持修繕工事の内容は。

答弁 花常（65・8m）と鎌須賀（47・5m）の側溝修繕を行う。

利用計画を示せ

質問 砂子柳原地区のゲートボール場を、防災のために使うとのことだが、具体的な利用計画は。

答弁 建物の計画はなく、オープンスペースとして考えている。

体育館に考えは

質問 小中学校の扇風機設置では、体育館も含まれるのか。

答弁 今回は、体育館には考えていない。

なぜ 減額

質問 小中学校のガラス飛散防止工事は、約5000万円減額の大きな補正であるが、当初計画からの変更があったのか。

答弁 計画に変更はなく、入札の結果、大きな減額となった。

チェンジ・チャレンジ・パワーアップ！

～理想的な議会を目指して～



ご参加いただき、ありがとうございました

今後 報告会を行っていきます。多くの方との情報共有の場にしたいと思っております。日時や場所は、回覧文、ホームページなどでお知らせします。ぜひ、ご参加ください。

議会報告会を開催しました

議会では、町民の皆様へ情報提供を行うこと、また、声を聴く場として、議会報告会を行っています。

今回は、10月26日に、「より多くの町民の方に参加してほしい」という思いから、町立公民館と総合福祉センター希望の家の2カ所で開催しました。

報告会は、9月議会の報告、議会基本条例策定に向けた取り組みの報告、参加者との懇談会を行いました。

議会基本条例策定に向けた取り組みでは、今までの議会改革の成果、条例の主な内容や今後の方針などを報告しました。

また、懇談会では、町政に対する質問やさまざまな意見があり、参加者の方々の熱い思いを感じることができました。さらには、議会報告会のあり方など、議会に対するご意見も数多くいただき、とても有意義な時間となりました。

今後の議会活動、議会改革の力とさせていただきます。

	議案	賛成	反対	結果
12月定例会	専決処分を報告し、承認を求めることについて（衆議院議員選挙などの補正予算）	11	0	承認
	暴力団排除条例の一部改正	11	0	可決
	証人等の実費弁償に関する条例の一部改正	11	0	可決
	町職員の給与に関する条例の一部改正	11	0	可決
	平成24年度 一般会計補正予算（第5号）	11	0	可決
	平成24年度 国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	11	0	可決
	平成24年度 介護保険特別会計補正予算（第2号）	11	0	可決
	平成24年度 公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	11	0	可決
	介護・福祉・医療など社会保障の施策充実についての請願書	1	10	不採択
	生活保護基準の引き下げはしないことなど国に意見書提出を求める請願書	1	10	不採択
	介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める請願書	1	10	不採択
	安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善大幅増員を求める請願書	1	10	不採択
	町議会委員会条例及び議会広報特別委員会条例の一部改正	11	0	可決
	町議会会議規則の一部改正	11	0	可決

ずばり直言！ 一般質問

12月議会の一般質問は、12月10日に行い、6人の議員が町政をただしました。質問と答弁を要約してお知らせします。

子ども・子育て支援3法の具体策を



後藤田麻美子議員

社会保障と税の一体改革の一番重要な点は、子ども・子育て支援3法と考える。この法律による新制度は、平成27年度から行われることになっている。

新制度への移行にあたり、地方版子ども・子育て会議の設置と事業計画策定に向けて、ニーズ調査の経費計上や準備組織の設置などの考えを伺う。

設置に向け検討

町長 既に検討しており、準備に入っている。

来年度、町の子ども・子育て会議の設置をしたい。

まちづくりは「人づくり」 教育行政を推進せよ



横井良隆議員

町の未来を創り出す原動力である子ども教育を問う。

①国県教育振興計画を基にした町の施策と行動計画は。

②町の教育の重点施策は何か。

③水難事故を受け、安全教育の強化を。

④いじめ・不登校撲滅に向けて、施策・対応の強化を。

⑤教育相談センターを設置し、総合的な対応を。

生きる力を育む

教育長 ①教育創造プランを策定し、点検評価を実施。

②生きる力を育む教育、問題解決能力の育成、地域との連携の強化。

③教職員のための安全教育プログラムを作成する。

④学校・地域・家庭と連携し、対応する。

⑤センター設置は、適応指導教室の検証を含め検討。

高齢者の福祉行政を見直せ



折橋盛男議員

高齢者の日常生活に対する不安を解消し、安心して暮らせる社会を構築する必要性が高まっている。

そこで、福祉行政について問う。

①福祉巡回バスを、スーパーや病院の近くで乗り降りできるようにせよ。

②認知症の高齢者などが行方不明になった場合、地域ぐるみで早期発見するシステムづくりを推進できないか。

現状で対応

福祉部長 ①福祉巡回バスは、公共施設への交通の便を図るため、スーパーや病院は、想定していない。

②地域包括支援センターと関係機関の連絡網がある。

認知症サポーター養成講座を行い、地域でも見守りを行っている。

防災行政無線のデジタル化の理由は



広田幸治議員

平成26年度より、町民税が増税となる。この増税による増収分は、防災行政無線をデジタル化するために使うとの方針が示された。

デジタル化するためには、多額の予算が必要となる。

なぜ、デジタル化をするのか。

災害対応に必要

総務課長 双方向通信が可能なデジタル化により、災害時や緊急時の情報伝達や情報収集などを、より確実なものにするためである。

問 多重債務対策の強化を

答 相談業務を強化する

問 引越越し補助金制度の創設を

答 考えていない

なぜ多い課長の中途退職、病気療養、降格



吉原経夫議員

ここ一年余りの間に、15人の課長級の中から、定年前の退職者が2人、病気療養が2人、課長補佐に降格が2人あった。異様に多いように思う。

何か、問題点があるのか。

問題ない

総務部長 問題は無いと認識している。

問 町民プールをつくれ

答 学校プールを開放することを検討

問 町図書室で他の図書館の本を借りられるようにせよ

答 県図書館の協力貸出制度で対応する

他に、1問ありました。

組織改革、職場環境の整備をどう考えているか



村上昌生議員

組織の編成や職員の配置には、どう配慮しているのか。

快適な職場環境づくりに、どう取り組んでいるのか。

職場での助け合いの減少が、心の病につながる。職員同士や上司との相談体制が整っているのか。

ストレスの原因と改善対策を、どのように認識しているのか。

配慮していく

町長 やる気を損なわないような配置転換、風通しの良い職場にしている。

一人の職員がこなす仕事量が既に限界に来ており、余裕が無い。そこで、現場からの提案などで解決できることは、すぐに対応する。

問 郷土史とまちづくりのビジョンは

答 町史の改訂に取り組む

あれからどうなった！

過去の一般質問から、その後どうなったかを追跡取材し、お知らせします。

平成23年9月定例会

質問 名古屋市との合併を問う。

答 弁 メリット・デメリットを勉強会で明らかにし、住民には広報などで周知する。



- ◆名古屋市との勉強会は、平成23年9月以降4回行った。
- ◆本町は、メリット・デメリットは作成したが、まだ、名古屋市とのすり合わせはできていない。
- ◆住民アンケートは未定。



- ◆ピアゴ、コープあいちと災害協定を結んだ。
- ◆近隣市町村・海部医師会・海部歯科医師会・海部津島薬剤師会などと協定。
- ◆災害情報の伝達手段として、ミッドエフエム761と協定。
- ◆雨水対策で若手職員を対象に、勉強会を行った。



議会の進め方

開会

上程・提案説明

議案を議題とすることを「上程」といいます。

提案説明は、提出者（町長・議員・委員会）が、提案の理由と、その内容を明らかにするために行う説明です。



一般質問

町長などに対して、町政の状況や将来の方針などを質問するものです。

質問の時間は、1 議員 30 分以内で、一問一答方式です。

質疑

議題となっている議案の不明確な点や詳しく知りたい点を提出者に問うことです。

1 議案につき、1 人 3 回まで質疑できます。

委員会審査

議案を専門的・具体的に審査するため、総務教育・福祉建設の各常任委員会を行います。

討論・採決

討論は、案件の賛否に対する意見を表明し、他議員の賛同を得ることです。

採決は、議案の可否を決めるものです。採決の結果を「議決」といいます。

閉会

本会議を傍聴してみませんか

色色の会議は傍聴することができます。傍聴を希望される方は、本会議の当日、役場 4 階議場前で受け付けています。

織田議長 総務大臣表彰受賞！

去る 10 月 5 日、織田八茂議長が、議長として通算 12 年以上在職し、地方自治の発展に功労があつたと認められ、総務大臣表彰を受賞しました。

そこで、織田議長に喜びの声とともに、今後の議会への思いを語っていただきました。



受賞 おめでとうございます

「町民の皆様の思いに応えたいと思い、長年議員を務めさせていただきました。その結果、こういった賞を受賞でき、とても光栄に思います。

今後とも、住民の皆様に関われた議会、参加できる議会を目指します。

さらなる大治町の発展のために、議会一丸となってまい進して参ります。」

所管事務調査報告

総務教育常任委員会

平成 25 年 1 月 8 日、総務教育常任委員会は、所管事務調査として、教育委員会と懇談会を行いました。

内容は、議会に報告された、平成 23 年度の「点検・評価報告書」を中心にし、小中学校でのいじめや、不登校問題、適応指導教室などについて議論を交わしました。

また、教育委員会からは、スポーツの振興に向け、総合型スポーツクラブづくりに取り組んでいる報告もありました。



能面師として 10 数名の弟子さんの育成をされ、また、能面研究家としても活躍されている面紹社代表の保田紹雲さんに、お話を伺ってきました。



保田紹雲さん(花常在住)

――まず、能面について教えて頂けませんか

能の舞台で、能楽師が用いる面のことです。

能面を制作することを、「面を打つ」と言います。

能の歴史は、室町時代にさかのぼります。その時代の面を中心に、5 流ある能

の家元が所蔵している面を「本面」と言います。

国の重要文化財に指定されていて、特別な催しでなければ、使われることはありません。

通常の舞台では、本面をまねて能面師が彫ったものを用いるのです。

――本面を手にとることができるのですか

それはまず不可能です。本面の写真が掲載されている書籍は、片っ端から買いたさりました。展覧会も逃さず見に行きます。

写真を頼りに本面に似せて彫刻・彩色します。

――色を付けるのも能面師の仕事ですか

そうです。木彫りから彩色までを一人でこなしますので、作成には 3 ～ 4 月かかります。

写真だけで本面に限りな

く近づけることは至難の業です。

――この仕事をやっていて、一番の喜びは

面が出来上がった時にも喜びを感じますが、やはり私の作った面を舞台で使っていた時です。

能楽師に「保田の作品を使いたい」と言われることが、至福の極みです。

――能面作りの世界に入ってきたきっかけは何でしたか

名古屋のカルチャーセンタ―で、習い始めたのがきっかけでした。

当時 42 歳でしたから、もう 35 年にもなります。

本日は忙しい中、ありがとうございます。

今後後継者の育成に力を注いで頂き、大切な日本文化が後世に継承されることを願います。



さまざまな表情の能面たち

暫時休憩

▼梅も徐々に咲きはじめ、春の訪れを感じさせます。

▼今号の発行日 2 月 20 日は「普通選挙の日」――昭和 3 年に日本で初めて、普通選挙が行われた日です。

▼本町の総選挙の投票率は、50・55%。

県下の市町村の中で、一番低い結果となりました。

選挙は、民意をあらわす鏡です。

▼政治をもっと身近に感じてもらえるよう、議会一丸となって取り組んでまいります。

3 月定例会日程（案）

- 6 日（水）開会 上程・提案説明
 - 11 日（月）一般質問
 - 12 日（火）質疑
 - 13 日（水）総務教育
 - 14 日（木）常任委員会
 - 15 日（金）福祉建設
 - 18 日（月）常任委員会
 - 19 日（火）採決 閉会
 - 26 日（火）採決 閉会
- ※日程は変更となる場合があります。